

一般会計決算の状況

平成27年度一般会計の決算額は、歳入総額が275億4,381万円、歳出総額が263億6,865万円で、歳入から歳出を差引いた収支は11億7,516万円の黒字となりました。ここから28年度へ繰り越した事業の財源2億4,517万円を差し引いた実質収支額は、9億2,999万円となり、黒字決算となっています。

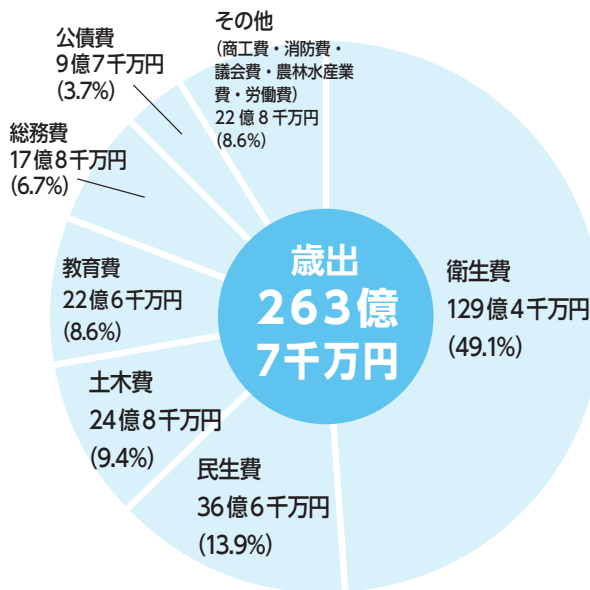
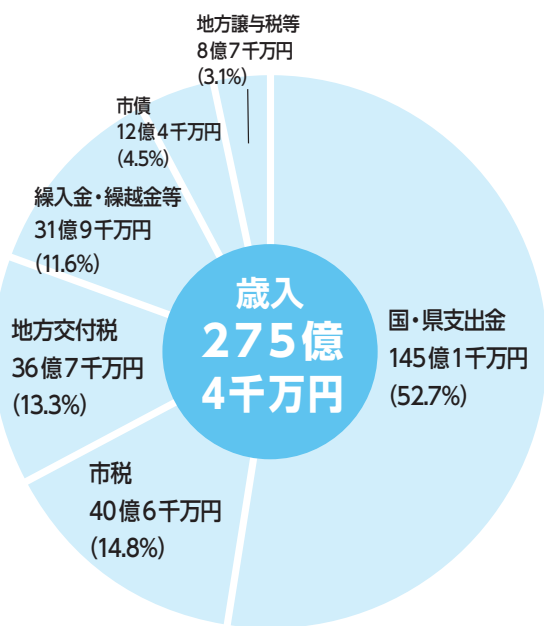
予算の執行に当たっては、本宮市自主的財政健全化計画を順守し、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、健全な財政運営に努めてきました。

問 財政課 財政係
24・5305

状況をお知らせします

とまりました。皆さんから納めていただいた税金がどのように

■歳入歳出



◎用語の解説

〔歳入〕

・国・県支出金：事務・事業に対して国・県から交付されたお金です。

・市税：市民税、固定資産税、軽自動車税など市民の皆さんが納めた税金です。

・地方交付税：市の財政力に応じて国から交付されたお金です。

・繰入金：積立金の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

・繰越金：一会計年度から次の会計年度に持ち越したお金です。

・市債：事業実施のために借りたお金です。

・地方譲与税等：地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金など国や県がいったん集めたものが、交付金として配分されたお金です。

平成27年度
各会計の決算状況

本宮市の財政

本宮市の平成27年度各会計の決算がま
使われたのかをお知らせします。

■特別会計・企業会計

企業会計（水道事業）の決算

経常的な収支		投資的な収支	
収入	10億 5,790万円	収入	1億 442万円
支出	8億 7,574万円	支出	4億 2,762万円

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	38億 4,265万円	35億 6,179万円
後期高齢者医療	2億 7,393万円	2億 7,271万円
介護保険	23億 835万円	22億 5,792万円
公共下水道事業	11億 7,780万円	11億 3,495万円
農業集落排水事業	7,451万円	7,153万円
工業用地造成事業	5億 9,611万円	5億 9,501万円
工業用地資産運用事業	1億 1,462万円	1億 1,462万円

基金名	平成27年度末残高
財政調整基金	13億 1,308万円
長期避難者生活拠点形成基金	10億 6,794万円
教育施設等整備事業基金	5億 8,162万円
地域福祉基金	3億 7,567万円
本宮駅東西自由通路等整備基金	3億円
減債基金	2億 5,160万円
震災・原子力災害復興基金	1億 6,366万円
篤志奨学資金給与基金	4,722万円
その他特定目的基金	4,707万円
合計	41億 4,786万円

基金残高約41億円
基金には、災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりなどといった不測の事態に備えて積み立てている財政調整基金や、教育施設の耐震化事業、本宮駅東西自由通路の整備事業など特定の目的のために積み立てている基金があります。

【歳出】

- ・衛生費…ごみ処理や生活環境を守るための経費です。（住宅除染含む）
- ・民生費…高齢者福祉、保育所運営、生活保護費など福祉のための経費です。
- ・土木費…道路橋りょう、公園整備のための経費です。
- ・教育費…学校教育・社会教育のための経費です。
- ・総務費…一般管理費、徴税費、選挙費など市政を進めるために必要な一般的な経費です。
- ・公債費…市が借りているお金の返済のための経費です。
- ・災害復旧費…公共施設や農業用施設を修復するための経費です。
- ・その他…商工、観光振興や消防団運営、防災対策などのための経費です。

市債・債務負担行為残高

平成 27 年度末現在高一覧

	元金	利子	合計
一般会計	153 億 8,967 万円	7 億 8,939 万円	161 億 7,906 万円
市債	152 億 2,924 万円	7 億 8,630 万円	160 億 1,554 万円
債務負担行為	1 億 6,043 万円	309 万円	1 億 6,352 万円
公共下水道事業	46 億 533 万円	5 億 4,283 万円	51 億 4,816 万円
市債	46 億 533 万円	5 億 4,283 万円	51 億 4,816 万円
農業集落排水事業	2 億 6,215 万円	3,957 万円	3 億 172 万円
市債	2 億 6,215 万円	3,957 万円	3 億 172 万円
工業用地造成事業	33 億 8,742 万円	2 億 2,988 万円	36 億 1,730 万円
債務負担行為	33 億 8,742 万円	2 億 2,988 万円	36 億 1,730 万円
水道事業	31 億 621 万円	5 億 3,444 万円	36 億 4,065 万円
市債	31 億 621 万円	5 億 3,444 万円	36 億 4,065 万円
計	267 億 5,078 万円	21 億 3,611 万円	288 億 8,689 万円

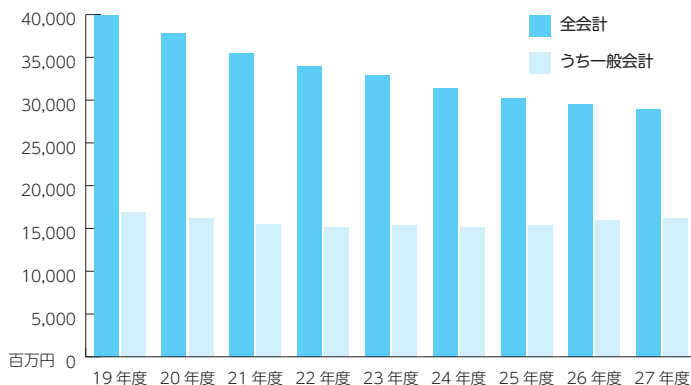
MEMO

市債残高
251 億
 1 千万円
 +
 債務負担行為残高
37 億
 8 千万円

→

288 億
 9 千万円
 (昨年は
 295 億 5 千万円)

市債・債務負担行為の推移



計画的な借入・返済を
 計画的な市債の発行と
 債務の償還により、平成19
 年度には399億円あった
 借金が、平成27年度には
 110億1,300万円減少
 し、288億8,700万円
 となりました。今後も計画を
 順守し、適正な市債の発行、
 償還を行っていきます。

健全化項目をクリア

	解 説	27 年度比率 (※)	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	一般会計に赤字額がどれくらいあるかを表します。	- (-)	13.71%	20.00%
②連結実質赤字比率	一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字額がどれくらいあるかを表します。	- (-)	18.71%	30.00%
③実質公債費比率	市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します。	11.1 (12.8)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	市の財政運営に影響するすべての会計で将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します。	106.0 (132.1)	350%	

※ () 内は、昨年 26 年度比率です

健全化項目をオールクリア
 単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するために4つの指標を算出します。

4つの指標が基準値を上回る場合は、早期健全化団体(財政が危ない状態)、財政再生団体(財政が破たんした状態)となります。早期健全化団体になると財政健全化計画を策定し、計画に基づいて健全化を図ることになります。また、財政再生団体になると、再生計画の策定や市債などに対して国の管理下におかれるため、自主的な財政運営ができなくなります。

市では、平成27年度決算では4つの指標とも基準を下回りました。今後も事業の効率化を図り、健全な財政運営をしていきます。

27年度の事業



プリンス・ウィリアムズ・パークの愛称が付けられた屋内外あそび場

東日本大震災・原子力災害からの 復旧・復興へ向けて

住宅除染事業	118億4,080万円
農地除染事業	6,645万円
復興公営住宅整備事業	11億4,843万円
スマイルキッズパーク管理運営・整備事業	5,209万円
農産物放射性物質検査事業	4,166万円
放射線健康管理対策事業	3,490万円

豊かな心と創造性あふれる

人材育成のまちづくり

白沢中学校体育館耐震化事業	2億6,266万円
本宮第一中学校耐震化事業	2億5,926万円
屋内運動施設整備事業	2億5,365万円
岩根小学校施設整備事業	3,075万円



関下に整備された屋内運動場「まゆみアリーナ」

市民と行政の協働による自立したまちづくり

行政区支援事業	防災通信施設管理事業	集会所整備・管理支援事業
3,261万円	1,128万円	551万円

共に支えあう やさしいまちづくり

児童手当支給事業	子ども医療費助成事業	予防接種事業
5億3,995万円	1億6,563万円	7,203万円
重度心身障がい者医療給付事業	がん検診事業	高齢者生きがいデイサービス事業
5,325万円	4,496万円	2,968万円

活力あるふるさとのまちづくり

企業立地推進事業	観光関係団体運営支援事業	商工業振興団体支援事業	農業経営担い手支援事業
2,975万円	2,253万円	1,780万円	553万円

安全・安心な環境のまちづくり

本宮駅周辺東西アクセス整備事業	3億756万円
橋りょう維持事業	1億981万円
白沢総合支所周辺環境整備事業	4,482万円
大山・松沢線整備事業	4,156万円
地域防災センター整備事業	4,125万円
定住対策事業	3,948万円

※本宮駅周辺東西アクセス整備事業のうち、3億円は基金へ積み立てしたものです



防災減災の拠点として整備された地域防災センター